

公共事業継続箇所評価調査

(様式5)

評価確定日(令和6年9月27日)

事業コード	R06-農-継-12	区 分	● 国庫補助 ○ 県単独
事業名	水利施設整備事業	部局課室名	農林水産部 農地整備課
事業種別	かんがい排水事業	班 名	水利整備・防災チーム (tel)018-860-1830
路線名等	大戸川	担当課長名	農地整備課 足立 徹
箇所名	大仙市、横手市	担当者名	安藤 幸弥
プランとの 関連	戦 略	農林水産戦略	
	目指す姿	農業の食料供給力の強化	
	施策の方向性	持続可能で効率的な生産体制づくり	

1. 事業の概要

事業期間	R1～ R8（8年）	総事業費	33.4 億円	国庫補助率	55%	
事業規模	全体面積A＝481.8ha 用水路工L＝24.3km					
事業の立案 に至る背景	○本地区は、国営「旭川地区」で改修する大戸川頭首工で取水した用水を横手市百万刈を経て大仙市大曲角間川地区へ導水する幹線用水路であり、国営旭川地区の関連事業として位置づけられている。 ○現状では水路の不同沈下等により耕区末端まで用水が行き届かない状況である。 ○国営旭川地区で改修される大戸川頭首工からの用水を安定供給されることが切望されている。					
事業目的	○水路のパイプライン化及び勾配修正による合理化を図り、安定した用水供給を行うとともに、国営事業計画に沿って、現在4箇所ある揚水機場の廃止または縮小による維持管費の節減と農業生産の維持及び農業経営の安定を図る。					
事業費内訳 事業内容 （単位：千円）			前回評価	今回評価	増 減	理 由 等 軟弱地盤対策工の増等
	事業費		2,814,000	3,310,000	496,000	
	経費内訳	工事費	2,661,000	2,881,000	220,000	
		用補費	3,000	14,000	11,000	
		その他	150,000	415,000	265,000	
	財源内訳	国庫補助	1,547,700	1,820,500	272,800	
		県債	696,400	819,200	122,800	
		その他	492,450	579,250	86,800	
		一般財源	77,450	91,050	13,600	
	事業内容		用水路工 L＝24.3km	用水路工 L＝24.3km	用水路工 L＝0.0km	
事業の進捗 状況	○本地区は、令和元年度に採択、着工している。 ○令和5年度までに用水路総延長の49%（12.0km）が完成している。					
事業推進上 の課題	○地区全体に軟弱な有機質粘土層が広く分布しており、埋め戻し土の改良及び基礎対策の費用がかさんでいる状況。					
関連する計 画等	○「新秋田元気創造プラン」及び「新ふるさと秋田農林水産ビジョン」					
情勢の変化 及び長期継 続の理由	○本地区の用水路は国営かんがい排水事業「旭川地区」で改修される大戸川頭首工から取水し、横手市百万刈を経て大仙市角間川地区へ導水する幹線用水路であるが、水路の不同沈下等により耕区末端まで用水が行き届かない状況にある。このため、水路のパイプライン化及び勾配修正を行うことにより安定した用水供給を行うとともに、国営事業計画に沿って、現在4箇所ある揚水機場の廃止及び縮小による維持管理費の節減と農業生産の維持及び農業経営の安定を図ることが求められている。					
事業効果把 握の手法及 び効果	指標名	更新が必要な農業用排水施設の整備面積				
	指標式	農業用排水施設の整備面積の実績÷更新が必要な農業用排水施設の整備面積				
	指標の種類	○ 成果指標 ● 業績指標		低減指標の有無	○ 有 ● 無	
	目標値 a	481.8 ha		データ等の出典	令和5年度まで実績	
	実績値 b	250.1 ha				
	達成率 b／a	51.9 %		把握の時期	令和6年 3月	

前回評価結果等	☒ 選定または継続 ☐ 改善 ☐ 見直し ☐ 保留または中止
	①指摘事項
	特になし
	②指摘事項への対応
	—

2. 所管課の自己評価

観 点	評価の内容（特記事項）	評 価 点
必 要 性	○現況用水路の不同沈下により、耕区末端まで用水が行き届いていない状況であるため、安定した用水供給が求められており、事業の必要性は高い。	5 点
緊 急 性	○国営かんがい排水事業「旭川地区」で改修される大戸川頭首工で取水した用水を供給する導水路である。また、国営事業計画に沿って、現在4箇所ある揚水機場の廃止、縮小が行われるため、合わせて本地区の用水路整備を急ぐ必要がある。	5 点
有 効 性	○用水路のパイプライン化及び勾配修正により、安定した用水供給が行われ、耕区末端の用水不足が解消される。 ○水管理システムによる水管理及び、現在4つある揚水機場の廃止及び縮小により維持管理費の節減が図られる。	4 0 点
効 率 性	○本事業と国営事業が相乗して、作成生産効果、水源かん養効果、景観・環境保全効果、都市・農村交流促進効果等の多様な効果が見込まれ、費用対効果は1.04となる。	1 3 点
熟 度	○土地改良区総代会において、事業の推進の議決が得られたうえで事業申請されているほか各年度の工事計画や箇所についても十分協議しながら進めており、事業への理解を得ている。	3 0 点
判 定	ランク (☒ I ☐ II ☐ III)	9 3 点
	各観点の評価結果から、事業実施箇所としての優先度が高く、完了に向けて継続することが妥当である。	
総 合 評 価	☒ 継続 ☐ 改善して継続 ☐ 見直し ☐ 中止	
	事業判定ランク I となっており、早期の事業完了に向けて継続すべきと考える。	

3. 評価結果の当該事業への反映状況等（対応方針）

安定した用水供給を図るため、必要な整備を継続していくとともに、工事の実施にあたっては環境配慮対策と一層のコスト縮減に努める。

4. 公共事業評価専門委員会意見

県の対応方針を可とする。

公共事業箇所評価基準

評価種別 継続箇所評価
適用基準名 かんがい排水事業

事業コード (R06－農－継－12)
路線名等 (大戸川)
箇所名 (大仙市、横手市)

1. 評価内訳

観 点	評価項目	細 別	評価基準	配点	評価点	摘 要
必要性	事業の必要性					
	社会経済情勢による需要	需要が高い		5	5	水路の不同沈下により耕区末端まで用水が行き届いていない。
		需要が低い		0		
	計			5	5	
緊急性	他事業との関連					
	他事業との関連	関連する他事業との調整で緊急性が高い		5	5	国営「旭川地区」
		他事業はないが、単独で十分な効果がある		3		
	計			5	5	
有効性	整備の効果					
	農業経営の安定及び農業生産性の向上	用水不足及び湛水被害の軽減効果が発現している		15	15	整備済み路線では用水不足が解消している。
		用水不足及び湛水被害の軽減効果が見込まれる		10		
	施設の維持管理体制	地域が一体となった維持管理体制の構築が図られている		10	10	2改良区で管理を行う
		維持管理体制の充実が図られる見込みがある		5		
	省力化技術の導入	水管理省力化に資する取組が2項目以上実施されている		15	15	水管理システムによる管理。揚水機の廃止及び縮小。
		水管理省力化に資する取組が1項目実施されている		10		
	計			40	40	
効率性	事業の投資効果					
	費用便益比 (B/C)	1.20以上		5	3	費用対効果 1.04
		1.00以上1.20未満		3		
	事業実施コストの縮減					
	コスト縮減対策 ①工法の比較検討 ②新技術の導入 ③資源の活用 ④共同工事 ⑤その他	2項目以上実施		10	10	他地区からの盛土材流用。 既設水路の再利用。
		1項目実施		5		
		対策を検討中		1		
	計			15	13	
熟度	事業の推進					
	前年度までの進捗	計画どおり進捗している		15	10	概ね計画どおりに進捗している。
		概ね計画どおり進捗している		10		
		計画より遅れている		0		
	他官庁との協議調整	協議・調整済みであり、事業推進に影響はない		10	10	必要な協議は終えている
		協議・調整中であるが、事業推進に影響はない		5		
		協議・調整中であるが、事業推進に影響している		0		
	環境との調和への配慮状況					
	環境保全への配慮	十分に配慮されている		10	10	濁水流出防止
		配慮について検討している		5		
		特に配慮はない		0		
	計			35	30	
	合 計			100	93	

2. 判 定

ランク	判定内容	配 点	判定	摘 要
I	優先度がかなり高い	80点以上	I	
II	優先度が高い	60点以上80点未満		
III	優先度が低い	60点未満		